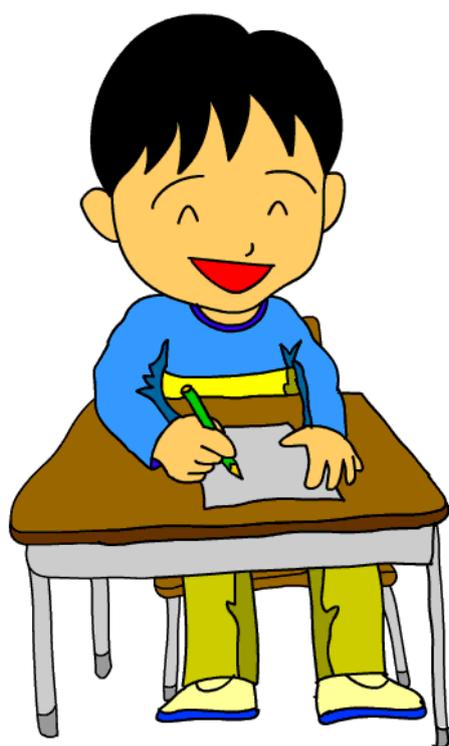


保存版

葦高の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き

～進んで学ぶ子どもを育てるために～



倉敷市立葦高小学校

1 なぜ家庭学習が必要なの？

小学校6年生・中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査や中学校1年生を対象にした岡山県学力・学習状況調査から分かったことのひとつは、学力と学習生活環境は大いに関連性があり、

「学力は家庭学習でさらに向上する」

ということです。

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで学習内容がより確かに定着し学力が伸びていくと考えます。

この「家庭学習の手引き」は本校の学力・学習状況調査の結果や児童の実態を踏まえて家庭学習の進め方についてまとめたものです。お子様と一緒にごらんいただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。



2 家庭学習のポイントは？

家庭学習の効果が上がるかどうかは環境の設定や周りの大人（保護者）の働き掛けにかかっています。子どものやる気を引き出す関わりをお願いします。

① 決まった時刻に毎日コツコツする

学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切なのです。習い事やお出かけなどで予定の組みにくいときもあるかと思いますが、時間をやりくりして家庭学習の時間を生み出しましょう。

家族でよく相談して、**毎日決まった時刻から決まった時間家庭学習をする習慣**を身に付けさせることがとても大切です。

家庭学習時間の目安は次のとおりです。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学習時間	20分	30分	30分	40分	50分	60分

② 集中して学習する

学力を伸ばすためには集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習しても手遊びをしたり、「ながら勉強」をしたりしていたのでは効果は上がりません。

- 家庭学習をしているときはテレビやゲームを切りましょう。
- 学習に関係ないもの（マンガなど）を近くにおかないようにしましょう。
- 整頓された場所で学習しましょう。
- できるだけ人やペットなどが通らない（動かない、見えない）場所で学習しましょう。
- 途中で席を立たなくてもよいように、トイレなどをすませてから始めましょう。

③ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

親や教師が子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることで自信がつき、進んで学習しようとする意欲が高まります。毎日の生活の中では、つつい口うるさくなりがちですが、過度に強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果となります。

④ 学力アップは規則正しい生活から

「早寝・早起き・朝ごはん」は生活リズムの大原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。

- 朝は6時30分までに起きる習慣を付けましょう。
- 朝ごはんを必ず食べましょう。
- 夜は遅くても次の時間までに寝る習慣を付けましょう。
1・2年：午後9時 3・4年：午後9時30分 5・6年：午後10時

3 家庭学習の方法は？

家族で相談して、互いに納得できるルールを作るとスムーズに行えることが多いようです。

- (1) 学校から出る「宿題」を最初に取り組むようにしましょう。
- (2) 家族で決めたルールに沿って自主学習に取り組んでみましょう。
- (3) 週に一度は「ノーテレビ・ノーゲームデー」を作ってみてはいかがでしょうか？
- (4) 読書は心の糧になります。子どもの成長に合わせて読み聞かせや親子読書、感想の交流などに取り組んでみてください。
- (5) 学習が終わったら、次の日の準備をする習慣をつけさせましょう。親子で一緒に取り組んだり、「メニュー」として一覧表を貼っておいたりするとよいでしょう。
 - ・ 学校からの手紙を確かめる。
 - ・ えんぴつをけずる。
 - ・ 連絡帳を見て教科書やノートをランドセルに入れる。
 - ・ 体操服や絵の具などをランドセルのそばに置く。
 - ・ ハンカチ・ティッシュ・名札・帽子などをそろえる。

4 どんな自主学習をすればいいの？

以下に示すものは自主学習の例です。子どもの興味や学力の定着状況に応じて取り組んでみるとよいですね。

- 【 国 語 】 ・漢字練習 ・漢字ドリル ・意味調べ ・漢字の成り立ち ・視写（文写し）
・日記 ・音読 ・詩の暗唱 ・読書感想文 ・作者調べ ・〇分間スピーチ
・ローマ字の練習 ・百人一首の暗唱 ・反対の意味の言葉調べ ・ことわざ調べ
- 【 算 数 】 ・計算練習 ・計算ドリル ・百マス計算 ・九九の暗唱 ・計算カードの暗唱
・コンパス、分度器の練習 ・教科書巻末の「もっと練習」を解く
- 【社会・理科】 ・国名、地名、産業、地形、気候などの調査 ・都道府県や県庁所在地調べ
・地図記号調べ ・歴史上の人物の調査 ・新聞記事の説明
・天体、地層などの観察 ・植物、昆虫、魚などの観察や世話
・調べたことをカルタや新聞に表す活動 ・その他身近にできる実験・観察・調査
- 【 その他 】 ・その日学校で学習したことの復習 ・次の日に学校で学習する内容の予習
・鍵盤ハーモニカ・リコーダーの練習 ・家庭科の実践 ・なわとび
・テストの準備 ・テストの間違ったところをもう一度解いてみる
・市販の問題集を解く ・めあてを決め、予想し、調べて、まとめる活動

※ 問題を解いた時は、必ず答え合わせをして、間違ったところをもう一度する習慣をつけましょう。やりっぱなしでは効果は半減してしまいます。